

# 平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

## 一事業概要一

公益法人として第3期目を終え、これまでの事業（アスリート支援、地域スポーツ助成、情報誌発行、補助金・助成金の活用など）の拡大のみならず、中長期的に滋賀のスポーツ文化を発展させるべく新たな取り組みをスタートすることができた。「スポーツ教室」と称した若年層向けの指導機会を自主事業として設け、今後の定期教室開講に向けた礎とすることができた。定期教室として運営を安定させると同時に、クラブチーム化も見据えながら事業を拡大する予定であり、今後も「レイクス・スポーツファンド」として滋賀のスポーツ振興に取り組む。

## 1. 滋賀のスポーツを応援する助成基金の運営

### (1) 助成基金「レイクス・スポーツファンド」による助成

滋賀県出身あるいは滋賀県を拠点にスポーツに取り組む個人、団体、大会主催者に、その活動に対して助成をする。

助成目的：レイクス・スポーツファンドは、滋賀県内のスポーツ振興を目的に、県内に在住もしくは活動拠点を置く個人及び団体のスポーツ活動に助成する

助成概要：広くスポーツに関連する活動（振興・普及活動含む）や、個人、団体、大会

応募資格：滋賀県に在住もしくは活動拠点を置く個人、団体、大会主催者

助成期間：平成27年4月～28年3月 ※左記期間中に行われる活動を対象とする

助成原資：個人、法人、行政などからの寄付

**助成総額：242万円**

**助成対象：計27件（個人8件 団体6件 大会13件）**

### (2) 助成基金「レイクス・スポーツファンド」によるトップアスリート支援

突出した競技力を有するアスリート（プロ契約選手を除く。）を（1）の助成事業の対象者とは別に「滋賀レイクスターズ所属」選手として支援する。

対象：女子棒高跳び 我孫子智美

ハンマー投げ 森本真敏

女子フィギュアスケート 安原綾菜

**総額：305万円**

## 2. スポーツに関する情報の収集及び提供

滋賀県のスポーツ情報を無料月刊誌として発行し、滋賀県内にて配布することで滋賀県のスポーツ情報を広く県民に提供する。本情報誌が県民に広く行き届くように、行政庁、学校、公共図書館、郵便局などにおいて無料で設置、配布する。また、スポーツ情報の収集に際しては、公益財団法人滋賀県体育協会や滋賀県及び各市町教育委員会と連携を図る。

なお、特に青少年育成を目的に、小学生から大学生までの各世代の情報を毎月掲載する。

また、情報誌と連動してテレビ番組としても県内に広く情報提供をする。

**広告収入：1, 759万円**

**制作費用：2, 053万円**

<発行実績>

- ・ 2011年10月創刊（2015年6月現在第45号発行）
- ・ 毎月5万部発行 32ページ
- ・ 約200箇所のラック（行政庁、公共図書館、郵便局など）及び約375校の学校に設置、配布

## 3. スポーツ関連ボランティア活動の推進

県内の若年者とスポーツを通じて交流を図るため、スポーツ選手の派遣やプログラムの提供を無償にて実施する。主に、学校での体育や総合学習の授業の一環として実施する。

共催：滋賀県体育協会 後援：滋賀県教育委員会

**バスケットボール選手 30校 / 陸上選手 5校**

<実施実績>

7年間（2008年6月～2015年3月）で幼稚園から高校まで、のべ187校、約1万9千名の子どもたちと交流

## 4. イベント出演及び講演活動

滋賀県内でのスポーツの普及・振興、地域振興などを目的に、地域イベント出演や講演活動を実施する。 **5回実施**

## 5. 助成団体への助成事業申請及びスポーツ振興事業の拡大

公益法人という特性をいかし、行政・自治体・助成団体等からの助成金や補助金の活用及び当財団の活動と目的が合致する事業を各種団体より受託することにより、県内でのスポーツ振興事業を拡大する。

<受託実績>

文部科学省「平成25年度地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」

900万円で採択

## 6. スポーツ指導

多様な競技において、老若男女を対象として体験教室を開催する。競技や対象者によって、公益目的、あるいは収益目的の両面において実施する。

<実施実績>

- ・教員向けダンス講習 計12回実施
- ・スポーツ教室 計7競技にて実施